

第 519 回 大学院セミナー

共催：東京歯科大学ウェルビーイングプロジェクト

歯髓の生物学的特性と再生能の観点から 歯髓保護を考える



演者 大島 勇人 教授

新潟大学 大学院医歯学総合研究科
硬組織形態学分野

日時：2025 年 **10** 月 **29** 日 (水)

18:00~19:00 **西棟ラウンジ**

我々は歯の外的侵襲後の象牙芽細胞様細胞分化における細胞・細胞外マトリックス相互作用の全貌を解明することを目指している。歯髓幹細胞／前駆細胞ニッチは、象牙芽細胞下層、歯髓中央部、根尖部歯髓の三箇所が想定されているが、外的侵襲程度の大きさや歯の再植時に歯根切除・髓床底穿孔などの人為的な処置を組み合わせることが象牙芽細胞様細胞分化過程に影響を及ぼす。弱い侵襲（歯の切削）と強い侵襲（歯の再植・移植）動物実験モデルと各種遺伝子改変マウスを組み合わせることにより、歯髓幹細胞／前駆細胞と象牙芽細胞様細胞との関連が見えてきた。本講演では、歯髓内血行の回復と歯髓幹細胞／前駆細胞と細胞外マトリックス相互作用の関連から歯の損傷後の歯髓修復機構から学ぶべき事項を総括し、可逆性・不可逆性歯髓炎の解釈と診断のベースとなる歯髓の生物学的特性と再生能の観点から歯髓保護を考えたい。

Biomolecules 14: 931, 2024, Appl Sci 14: 11358, 2024, J Oral Biosci 65: 31-39, 2023, Regen Ther 24:582-591, 2023, J Oral Biosci 64: 26-36, 2022, J Oral Biosci 64: 77-84, 2022, Cell Tissue Res 388: 133-148, 2022, Front Dent Med, 2: 651334, 2021, J Clin Med 10: 3348, 2021, Dent Traumatol 37: 677-690, 2021 他